



安全・安心を目指して 美郷町防犯協会発足10周年記念式典

10月2日、美郷町中央ふれあい館で美郷町防犯協会の発足10周年記念式典が行われ、同協会の会員や老人クラブのメンバーら約130名が参加しました。

式典では、大仙警察署高齢者安全安心アドバイザーが「特殊詐欺被害防止」についての寸劇を披露。レターパックでの送金を求めるなど、詐欺グループが高齢者を言葉巧みにだます様子を実演し、参加者たちに注意を呼び掛けました。また、秋田県防犯協会の工藤十一専務理事が「地域でできる防犯活動」と題して講演を行いました。

「癒しと潤い」を提供 美郷雪華コレクション2014

美郷雪華の花弁から分離培養した酵母「美郷雪華酵母」を使用した「純米原酒ひやおろし」と、美郷雪華を使用した2014年産「ルームフレグランス」を「美郷雪華コレクション2014」と名付け、10月11日から町内取扱店で販売を開始しました。

10月3日には名水市場湧太郎で「美郷雪華コレクション2014」の商品発表会を開催し、町酒販協会役員など約50名が出席。純米原酒とルームフレグランスの商品開発に携わった方々から、商品の特徴が説明されました。

美郷雪華を使った特産品のコレクション化を通じて、美郷町の持つイメージ「癒しと潤い」をテーマに、町の認知度や魅力のPRにつなげていきます。



猿田茂雄さん(男鹿市)が優勝 第24回民謡「長者の山」全国大会

10月11日と12日の両日、美郷町北ふれあい館で第24回民謡「長者の山」全国大会が開催されました。一般、熟年、ジュニアの3部門に、今年は県内外から149名がエントリーし、日ごろ鍛えた自慢ののどを披露しました。各部門の上位入賞者は次のとおりです。(敬称略)

【一般の部】

- 優勝 猿田 茂雄 (男鹿市)
- 準優勝 大川あけみ (秋田市)
- 第3位 新保 公 (岩手県山田町)

【熟年の部】

- 優勝 川辺 節子 (秋田市)
- 準優勝 鎌田七五三吉 (男鹿市)
- 第3位 高橋栄治郎 (大館市)

【ジュニアの部】

- 最優秀賞 菅原 桃香 (男鹿市)
- 優秀賞 澤木 美晴 (男鹿市)
- 優秀賞 立石 静玖 (大館市)



祝結婚50周年 金婚をお祝いする会

10月17日、美郷町公民館で「金婚をお祝いする会」が開かれ、昭和39年に婚姻届を提出したご夫婦27組が出席しました。会では、町内のコーラスグループによるお祝いの歌に続いて松田町長が「金婚は、夫婦として刻んだ50年の年輪を振り返る節目の年。過去に対する感謝をお互いに持ち、夫婦として新たな年輪を刻んでほしい」とお祝いの言葉を述べ、出席された夫婦一組一組に讃詞と記念品を贈呈しました。

また、祝宴では唄や踊りのアトラクションが行われ、お祝いの席に華を添えました。



第10回 町議会 臨時 会



平成26年第10回町議会臨時会が10月16日に開かれました。審議された議案は次のとおりです。

可決された案件

■平成26年度美郷町一般会計補正予算第7号

平成26年産米の概算金の大幅な下落による減収が見込まれる農家等に対して、県と融資機関が行う無利子の融資に伴う保証料の助成経費を追加するほか、育成医療給付費の増額に伴う歳入歳出の増額、宿泊交流館アーリーナ耐震工事設計業務委託料の追加など、歳入歳出予算にそれぞれ764万4千円を追加し、総額を114億5540万7千円としました。

●平成26年産米の米価暴落対策を求める意見書の提出について

一瞬と感動が生み出すもの

美郷町長 松田知己



JAZZコンサートであいさつを述べる松田町長

風

トです。ホールが一体感に包みこまれました。平成19年度の秋田国体と同様、記憶に残る国民文化祭となったものと思います。改めて関係したすべての方々に、心からの感謝を申し上げます。ありがとうございます。

「一音に魂を込めろ」。10月13日、リリオスにおいて開催されたアクアJAZZフェスティバルに特別出演した日野皓止さんの言葉です。その核心にある日野さんの音楽に対する姿勢に、私は甚く感じ入りました。

そのコンサート、会場で時間を共有した方は共通認識だろうと思いますが、まさに一音に込めた魂を感じるコンサートでした。一言で「感動」のコンサー

さて、茶道に「一期一会」という言葉があります。ある解説に「一生に一度だけの機会。生涯に一回しかないと考えてそのことに専念する意」とあります。つまりはこの一瞬を大切にしていって誠意を尽くすという意味と存じますが、「一音に魂を込めろ」という言葉の意味はきっとそれと同意です。何故なら音楽は時間と同様、一瞬の連続で形成されていくからです。結果、一瞬を大切にすることは音楽とその時間にある種の意義を付与して

いくこととなり、だからこそ私は日野さんの言葉に深みを覚えた次第です。

また、私の好きな書家であり詩人の相田みつをさんは、こういう言葉を残しています。「感動とは感じて動くこと」。きつとアクアJAZZフェスティバルでの感動も、それぞれの想いに応じたそれぞれの新たな行動のエネルギーに繋がっていくものと思います。「感動のコンサート万歳！」です。

そして美郷町。ご承知のとおり一つの節目を迎えました。しかしこの節目、時間概念では一瞬のことです。そのことを踏まえ、日野さんや相田さんの言葉を重ねるならば、この瞬間に魂を込めて美郷を考え、この瞬間をみなさんと迎えた感動を大切に新たな美郷づくりに動き、さらにその意識を継続することで、美郷の歩む時間にある種の意義を生み出していきましょうということになります。一体感ある美郷町のために今後もがんばっていきましょう。